

# 令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【中尾小】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	【学習上の課題】算数「数と計算」において、平均正答率が6割に満たない。 【指導上の課題】児童が反復・習熟に取り組む時間の設定が不十分である。	⇒ 「ドリルパーク」やドリル教材等を活用する時間を設定し、基本的な計算等の反復・習熟に取り組めるようにする。【毎日】
思考・判断・表現	【学習上の課題】国語・算数の「思考・判断・表現」の記述式問題の無回答率が高い。 【指導上の課題】自分の考えを表現する時間の設定が不十分である。	⇒ 学習の中でICT機器を活用し、オクリンクやムーブノート、共同編集等を通して、自分の考えを表現できるようにする。また、話し合う活動を意図的・計画的に設定し、自分の考えを表現する時間を十分に確保する。【R6年度さいたま市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が90%以上】

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	国語の「我が国の言語文化に関する事項」において課題がみられた。解答類型を見てみると、日常的に読書に親しむことよさへの気付きが不十分であると考えられる。また、算数の「図形(領域)において課題がみられた。解答類型を見てみると、直方体の見取り図や円柱の展開図についての理解が不十分であると考えられる。	
思考・判断・表現	国語の「読むこと」において課題がみられた。解答類型を見てみると、人物像や物語の全体像を想像することができていないと考えられる。算数の「データの活用」において課題がみられた。解答類型を見てみると、問題文に応じてグラフや表から必要な情報を読み取ることができていないと考えられる。	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	ほぼ毎日、授業や家庭学習において、「ドリルパーク」やドリル教材等を活用し、漢字や基本的な計算等の反復・習熟に取り組むことができた。活用頻度をさらに高めていきたい。	変更なし
思考・判断・表現	B	ICT機器の活用や話し合い活動の意図的・計画的な設定により、自分の考えを表現する活動を確保することができた。ただし、学年によって回数や頻度に差があるため、改善していけるようにしたい。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)